

青葉の子

<学校教育目標>

夢と志をもち 心豊かで
主体的に学ぶ 児童の育成

しっかり寝^ル きちんと食ベ^ル よく遊^ブ で健やかに伸び^ル

実りの秋へ向かって・・・

2学期が始まってまもなく1か月。残暑もようやく落ち着き秋の気配が色濃く感じられるようになりました。朝夕めっきりと涼しくなり、肌寒さも感じるようになりました。校舎裏の畑では、サツマイモが収穫を間近に控え、ヘチマの実が大きく熟しています。朝夕聞こえる虫の声も日に日に大きくなり、季節の移り変わりを実感する今日この頃です。

さて学校では、2学期がスタートしておよそ1か月が過ぎようとしています。長期休業明けに見られる生活リズムの乱れもなく、順調に学校生活を送っている様子が見られます。日常生活の中では、夏季休業中に心身ともに大きく成長した様子も伝わり、改めて子どもの成長を実感しています。

さて、学校では校内水泳記録会、6年修学旅行が終わりました。現在は、今月末に控えた3、4年生の古川地区音楽会の練習に音楽室から楽器の音色が聞こえてくる日々です。まもなく学芸会の練習も始まり、まさに「芸術の秋」本番というところです。子どもたち一人一人の成長を願い、指導を続けていきたいと考えております。

また、先日は初の試みとして、地域との合同防災訓練を実施いたしました。当日はあいにく雨天となってしまいましたが、地域の皆様のご協力のおかげで、工夫しながら予定されていた内容を実施することができました。災害はいつ起こるか分かりません。この機会にご家族で防災について話をしてみたいはいかがでしょうか。ご協力ありがとうございました。

これから日一日と寒くなってきますが、子どもたちは元気いっぱいです。10月も地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



【地域防災訓練はしご車搭乗体験】

「ゴーゴーゴー・元気に歩こうの日」の設定について

本校では、体力づくりの一環として徒歩通学を奨励しておりますが、「具体的に日を決めてみんなで取り組んでみては・・・」というご意見を地域の方々よりいただきました。そこで、下記のとおり徒歩通学奨励日を設定して取り組むこととしました。地域の皆様方にもお声掛けをいただきながら、子どもたちの体力を高めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

○実施日 毎月5日、15日、25日（5のつく日）

○取組方法

- ・この日はできるだけ徒歩で登下校をする。
- ・通学路の全行程を徒歩での登下校が難しい場合は、学校から下記の地点までの区間を徒歩で通学する。（送迎は下記の地点までを目安とする。送迎地点での乗降は、道幅に余裕のある場所で、周囲の交通に十分注意して行ってください。）
（東側）JA種子センター （西側）土淵交差点 （北側）土地改良区
- ・健康上の理由や家庭の事情、悪天候の場合等は、各家庭の判断によって実施する。

10月の行事予定

- 10月 3日(水) 講話朝会, 2年大崎市児童劇場, 委員会活動
9日(火) 音楽朝会
10日(水) 学芸会児童公開 (全学年弁当持参)
13日(土) 学芸会一般公開 (全学年8時00分登校, 12時15分下校)
15日(月) 振替休業日
17日(水) 4, 6年校外学習 (パレットおおさき), クラブ活動
18日(木) 読み聞かせの会⑤
19日(金) 1, 2年遠足 (仙台市八木山動物公園), 全学年弁当持参の日
23日(火) 人権の花運動 (植栽活動・2校時)
24日(水) クラブ活動, スクールカウンセラー来校日
25日(木) 朗読朝会 (5年発表), 4年校外学習 (鹿島台方面・4年のみ弁当持参)
6年古川西中授業体験
26日(金) 集金日, 全学年弁当持参の日
3, 4年遠足 (仙台空港), 5年校外学習 (NHK仙台放送局)
28日(日) 古川西中学校区ミニ健康まつり
29日(月) 6年社会人講師理科特別授業
30日(火) 特別支援学級なかよし交流会
31日(水) 校内持久走記録会, 代表委員会

学校通信

◆9月7日(金) 校内水泳記録会

今年度の水泳学習のまとめとして学年部ごとに実施しました。当日はあいにくの雨模様で実施が危ぶまれましたが、子どもたちは元気いっぱい記録に挑戦する姿が見られました。お励まし、ありがとうございました。



◆9月12日(水)～13日(木) 6年修学旅行

1泊2日の修学旅行が終わりました。2日目に若干雨が降りましたが、一人一人がたくさんの思い出をつくって帰ってくることができました。



◆9月14日(金) 秋の交通安全教室

古川自動車教習センターの職員の方々においでいただき、実演を交えながら安全な歩行, 自転車の乗り方等をご指導いただきました。内輪差によって歩行者や自転車が巻き込まれる事故が多発しています。日常でもヒヤリハットの経験がある子どもたちもいるようです。交通安全に対する意識を高めていきたいと思ひます。

